

松っ子だよ！

平成28年 9月 6日(火)

桧沢小学校だよ！ No.6

文責：校長 星 俊 夫

☆第2学期がスタートしました。

2学期がスタートしました。46名の子どもたちそれぞれが充実した夏休みを過ごしたのと思います。無事に夏休みを終えることができたのも保護者や地域の皆様に温かく見守っていただいたおかげです。ありがとうございました。

☆校長からの宿題

1学期の終業式で、私から子どもたち全員に同じ内容の宿題を出しました。さて、宿題の内容は、

「世界中の人々がしあわせになるためにはどうすればよいだろうか？」でした。いきなりの問いかけに、きょとんとしていた子もいて、それでも一人一人しばらく考えていました。「それでは、この質問（問題）は、夏休みの宿題にしますので一人一人考えてみてください。」と話しました。

何故こんな宿題を私が出したかということ、確かな記憶はないのですが、同じような質問の内容を含むマザー・テレサの逸話を思い出したからです。その話の答えは、「家に帰って家族を愛しなさい。」でした。

私としては、夏休みは、家で時間が長くなるので「家族の人たちが喜ぶ手伝い」など、自分たちの身近な人たちへの温かな関わりの積み重ねが、「世界の平和につながっていくんだよ。」と話をまとめるはずだったのですが、「1年生から6年生まで全員同じことを考える」機会はめったにないし、簡単に答えを言うてくどくど説明してもおもしろくないと考え、急遽「夏休みの宿題」にしてしまった訳です。（時間もなかったので）

35日間の夏休みが終わり、2学期の始業式になりました。予想どおり、私の宿題は手強かったようで、やってきた子は二人でした。「子どもの自分に、世界中の人を幸せにする方法を考えるなんてできるわけがない。」と思うのが自然です。むしろそう考えてもらった方が、子どもたちの身近な場面のどうしてもよさそうな小さな実践がとんでもない大きなすばらしいことへつながっていくことを深く意識付けるのに、私としては望ましい展開です。

二人を校長室に呼んで、宿題の回答を聞きました。一人の子は、おばあちゃんとおじいちゃんと一緒に考えたそうです。「一人一人が協力すること、戦争をしないこと」もう一人の子は、自分で考えたそうです。「ボランティアの精神を持ち、具体的に行動すること」でした。どちらも大正解です。

「子どもたちのまっすぐな考えが世界の平和と人々の幸福につながっていく。」そんな願いを子どもたちと一緒に抱き、まず、足元から身近な人たちとの豊かな関わりを大切にしていきたいですね。

ところで、マザー・テレサが9月4日、カトリックで最高の崇敬の対象である「聖人」に認定された。というニュースが流れました。

聖人は、こんな言葉も残しました。Peace begins with a smile. (平和は微笑みから始まります)

☆人権教室を実施しました。

昨年度、福島県地方法務局若松支局及び若松人権擁護委員協議会より、子どもたちの「命を大切にする気持ちや、他者への思いやりの心」を育む活動の一つとして、小学校の児童を対象に「人権教室」の取組をしたいとの依頼があり、本年度の教育課程に組み込みました。

そして、9月5日（月）桧沢小学校に、人権擁護委員の佐藤 美千さんにおいでいただき、低・中・高学年に分けて「人権教室」を実施しました。

＜目的＞子どもに対する人権思想普及啓発啓蒙

（1・2学年）いのちを大切にする。自分を大切にするこゝの意味を知る。

（3・4学年）他の人を大切にする心を育てる。

（5・6学年）違いを知る。違いを尊重して助け合う心を育てる。

1・2年生は、「命は自分一人のものでなく、みんなにとっても大切なものであることを知り、自分の命も友だちの命も大切にしていこうとする心。」について考える授業を行いました。保護者の方には、自分の子どもの命名の理由などを盛り込みながら心温まるメッセージを（手紙）を書いていただきました。私も目を通させていただきましたが、どのメッセージも愛情あふれる内容でとても感銘を受けました。ありがとうございました。子どもたちは、改めて保護者の方々の深い愛情に気付いたことでしょう。

3・4年生は、「誰に対しても、わけへだてをせず、思いやりの心を持ちお互いに相手の気持ちを考えた言動をとおして、身近な人を大切にする。」ことについて考える授業を行いました。

グループに分かれて、自分が言ったこと、されたことなどについて話し合い、相手の気持ちを傷つけずに自分の気持ちを伝える話し方についてみんなで考えました。

5・6年生は、「人はみんな感じ方も考えも違いがあり、それを受けとめ認め合いながらよりよい生活をめざしていく心情の大切さ。」について考える授業を展開しました。

先日、全校児童で収穫したジャガイモを一人一人が手にとって観察し紙コップに入れて自分の名前を書きました。「ジャガイモと今日の授業は関係あるのかな？」と不思議に思った事でしょう。

みんな同じように見えるけれど、よく見るとそれぞれ違う。それでもどれもすくすく育ったおいしいジャガイモに違いはない。

私たち人間も、顔かたちも考えもそれぞれ違いがあり個性をもっている。それでも同じ血の通った命ある人間である。

「けんきょに広い心をもって」というテーマで自己を見つめ直す授業でした。

佐藤 美千さんには、準備から実施にいたるまで、大変お世話になりました。おかげさまで、充実した内容の授業は、子どもたちの心をさらに広く豊かにしたことでしょう。ありがとうございました。

5・6年生の授業（自分たちが収穫したジャガイモ）



人権擁護委員 佐藤 美千さん



メッセージを読んでいる様子

